



エルドリッチ研究所・代表

日本の国際的な地位と発言力を高めると共に、制限・制約なしの日米関係の深化(進化)と強化に貢献する調査、研究及び提言。また、経営者、教育者、政治家、防災・医療関係者、婦人会、学生、市民団体などを対象に、アメリカや日米関係、沖縄問題、防災のあり方、そして外国から見た日本や日本を取り巻く国際環境について講演・研修も行う。

ロバート・D・エルドリッチ (政治学博士)

Robert D. ELDRIDGE, Ph.D.

- 生年月日 昭和 43 年 (1968 年) 1 月 23 日、米国ニュージャージー州生まれ (米国籍)
- 前 職 米国海兵隊太平洋基地政務外交部 (G-7) 次長
- 専門分野 日本政治外交史、日米関係論、戦後沖縄史、安全保障、外交、防災・減災政策、危機管理、人道支援・災害活動、地方創生など
- 研究活動 日米の防衛協力、防災や災害、自衛隊の歴史、広報外交、国際交流と教育、 沖縄問題、沖縄、奄美と小笠原の返還過程の比較研究、日本政治外交、人物史
- 来 日 1990 年 7 月 (29 年目) 最初のきっかけは文部科学省 JET プログラム (4 期生)
- 最終学歴 神戸大学大学院・法学研究科博士課程後期課程 (政治学・博士号、1999 年)

賞 (一部)

- 第 5 回読売論壇新人賞最優秀作 (1999 年) (「サンフランシスコ講和条約と沖縄の処理」を対象)
- 第 15 回毎日新聞アジア・太平洋賞特別賞 (2003 年) (『沖縄問題の起源』を対象)
- 第 25 回サントリー学芸賞・思想歴史部門 (2003 年) (『沖縄問題の起源』を対象)
- 第 8 回中曽根康弘賞最優秀賞 (2012 年) (実務・研究両方における日米関係への貢献を対象)
- 第 8 回「真の近現代史観」懸賞論文佳作 (2015 年) (「沖縄のメディアと日本の危機」を対象)
- 第 32 回大平正芳記念財団大平正芳記念賞 (2016 年) (『尖閣問題の起源』を対象)
- 第 3 回国家基本問題研究所日本研究賞奨励賞 (2016 年) (『尖閣問題の起源』を対象)

講演・翻訳・コンサルティングなどのご依頼は

エルドリッチ研究所までお問合せください

Tel & Fax: 072-799-2753

E-mail: info@robertdeldridge.com

HP <https://www.robertdeldridge.com/>

エルドリッチ研究所へのご寄付振込み先

■ゆうちょ銀行 ■店名 708 (ナナゼロハチ)

■口座番号 普通 1658875

■口座名称「エルドリッチケンキュウジョ」

職歴（一部）

1997.4-1999.3	日本学術振興会（特別研究員）
1997.4-2008.3	国際交流基金関西センター（日本政治外交担当講師）
1999.4-2000.9	公益財団法人サントリー文化財団（フェロー）
2000.10-2001.9	一般財団法人平和・安全保障研究所（特別研究員）
2001.7-2009.9	大阪大学大学院・国際公共政策研究科（准教授）
2004.9-2005.8	米海兵隊太平洋軍司令部（客員研究員政治顧問）
2008.1-2008.3	参議院沖縄北方領土特別委員会（特別研究員）
2008.4-2009.3	北海道大学スラブ研究所（客員准教授）
2008.9-2009.3	立命館アジア太平洋大学（客員准教授）
2009.4-現在	沖縄国際大学法政研究所（特別研究員）
2009.9-2015.4	米海兵隊太平洋基地政務外交部（次長）
2014.4-現在	公益財団法人 世界平和研究所（客員研究員）
2015.4-現在	法政大学 沖縄文化研究所（国内研究員）
2016.4-2017.3	一般財団法人 アジア太平洋研究所（主任研究員）
2016.4-現在	一般財団法人 日本戦略研究フォーラム（上席研究員）
2016.9-現在	NPO 法人 ピースウィンズ・ジャパン（顧問）
2016.9-現在	一般社団法人 Asia-Pacific Alliance（顧問）

公職（一部）

2001.9-現在	（任意団体）日本アジア協会（理事）
2005.9-現在	（米 NPO）太平洋戦争記念協会（理事）
2006.4-2009.9	（NPO 法人）沖縄平和協力センター（理事）
2016.1-現在	（NPO 法人）沖縄ウーマンズプライド（顧問）
2016.1-現在	（米 NPO）Global Risk Mitigation Foundation（理事）
2016.3-現在	（任意団体）大島つ子夢と将来基金（代表・理事）
2016.4-現在	（任意団体）将来基金日本（代表・理事）
2018.4-現在	（一般社団法人）災害復旧復興支援機構（顧問）

主な和文著書（一部）

- 『防災をめぐる国際協力のあり方』（共著）ミネルヴァ書房、2017年
- 『トモダチ作戦』（単著）集英社、2017年
- 『次の大震災に備えるために』（編著）近代消防社、2016年
- 『だれが沖縄を殺すのか』（単著）PHP、2016年
- 『吉田茂』（共著）洋泉社、2016年
- 『危険な沖縄』（ケント・ギルバート氏との対談）産経新聞、2016年
- 『オキナワ論』（単著）新潮新書、2016年
- 『311以降一日米は防災で協力できるか?』近代 消防社、2015年
- 『尖閣問題の起源』（単著）名古屋大学出版会、2015年
- 『歴史としての吉田茂』（共著）中央公論新社、2009年
- 『米軍再編と日米安全保障協力』（共著）福村出版、2008年
- 『硫黄島・小笠原をめぐる日米関係』（単著）南方新社、2008年
- 『日米関係史』（共著）有斐閣、2008年
- 『国際公共政策学入門』（共著）大阪大学出版会、2008年
- 『12.26 インド洋津波から一年』（日英両語）大阪大学、2006年
- 『新・国際政治経済の基礎知識』（共著）有斐閣、2004年
- 『奄美返還と日米関係』（単著）南方新社、2003年
- 『沖縄問題の起源』（単著）名古屋大学出版会、2003年
- 『日米同盟と中国』（共著）スティムソン・センター、2002年

主な和文論文（一部）

- 「沖縄県民投票は大チャンス——保守派も積極的に投票に参加すべきだ」『VOICE』2018年10月
- 「日本版『台湾関係法』制定を今こそ」『正論』2018年9月
- 「トモダチ作戦の前史」『近代消防』2018年3月～5回連載
- 「日本の政治家は尖閣問題に背を向けている」『正論』2017年9月
- 「トランプ大統領—おなじみ米国 W 論客がメッタ斬り（ケント・ギルバート氏との対談）」『正論』2017年1月
- 「トランプの将来がもたらす日米の新時代」（中丸啓氏との対談）」『Japanism』2016年12月
- 「『日米台同盟』で尖閣を防衛せよ」『正論』2016年8月
- 「日本人よ、いつまで沖縄の暴走を許すのか」『WILL』2016年8月
- 「沖縄海兵隊への偏見を正す」『Voice』2016年8月
- 「『公』に生きる覚悟—なぜ我々は映像を公開したのか（一色正春氏との対談）」『正論』2016年6月
- 「沖縄反基地運動の構造的問題」『Nippon.com』2016年4月
- 「真実を報道しないメディアは国を滅ぼす（元谷外志雄氏との対談）」『Appletown』2016年3月号
- 「それでもオスプレイを拒む者たちへ」『正論』2016年1月
- 「普天間の神話と真相」『Voice』2015年11月
- 「沖縄メディアが報じない不都合な真実を知れ！（佐藤守氏との対談）」『Japanism』2015年10月
- 「自衛隊強化の秘策」『正論』2015年9月
- 「沖縄メディアの『ミス・インフォメーション』」『Nippon.com』2015年8月
- 「沖縄が分離してもいいのかわか」『Voice』2015年8月
- 「オスプレイと尖閣諸島」『正論』2012年12月
- 「沖縄の『基地問題』の現状」『Nippon.com』2012年2月
- 「『トモダチ作戦』後も続く絆」『アジア時報』2011年12月
- 「トモダチ作戦の舞台裏」『中央公論』2011年9月
- 「日本における大規模災害救援活動と在日米軍の役割」『国際公共政策研究』2006年9月
- 「人道支援と救援活動への対応」（共著）『SECURITARIAN』2005年4月-6月
- 「沖縄の危機が深まっている」『論座』2002年9月
- 「『沖縄問題』でも歴史認識が問われている」『中央公論』2001年10月

主な出演番組

- 読売テレビ「そこまで言って委員会N P」
- B S フジ Live「プライムニュース」
- 朝日放送テレビ「おしえて！ニュースライブ正義のミカタ」
- 朝日放送テレビ「おはよう朝日土曜日です」
- テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」（VTR）
- NHK『BSニュース』
- ABC ラジオ「おはようパーソナリティ道上洋三です」
- K I S S F M「やすトラダムス」